



学校便り 信明の窓

No.11

令和4年3月16日
松本市立信明中学校
教務主任：下島史生

校地内の要所に、一年中その凛とした葉先を空に向け、悠然としている樹木があります。その名は「松」。――

神がその木に宿るのを「待つ」の意とされ、成長・繁栄の象徴として古来より尊ばれてきた縁起木です。信明中学校の校章にも用いられています。



本日3月16日。3年間にわたって信明中学校を支え、後輩を導いてきた3年生113名が、それぞれの空に向かって、凛として羽ばたいていきます。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

そして今まで、本当にありがとうございました。

皆さんのこれからのさらなる成長と繁栄を、在校生・職員一同、心より祈っています。



祝★卒業

卒業生、3年間の軌跡。

平成31年4月、入学。――4月4日、ついに入学式を迎えました。私は緊張と不安を胸に信明中学校の門をくぐりました。昇降口にはあってあるクラス名簿を見て、さらに緊張が高まりました。…これからの3年間、あっという間だと思えます。たくさんの出会い、楽しいこと、苦しいこと、いろいろあると思えます。しかし、何事にも負けず、自分に自信をもち、立派な中学生になるよう、日々励んでいきたいです。



平成最後の入学生

6月、高遠フィールドワーク。――「あー。つらかったけど楽しかった！」最後に思ったのは、やっぱりこれでした。この思い出にたどりついたのは、「T・K・T・O（友だちと協力し、楽しい思い出をつくらう）」という目標に向け、みんな、「役割」というキーワードを、しっかり意識していたからだと思えます。…私は、高遠FWを通して、1人1人が役割を果たすことの大切さを、改めて学びました。



1年：高遠フィールドワーク

9月、初めての飛翔祭。――僕は、飛翔祭で心に残ったことが3つあります。1つ目は、飛翔祭そのものです。飛翔祭は、自分たちで創っていくものだと分かり、楽しかったです。2つ目は、信明オリンピックです。特に信明ジャンプ、励まし合って練習に取り組み、当日、全員が跳ぶことができました。そして3つ目は、「仲間の大切さ」です。仲間がいたからこそ、飛翔祭を楽しめたんだと思えます。



2年：キャリアアップin戸狩

令和2年10月、キャリアアップin戸狩。――私たち2年生は戸狩へ行き、体験学習をしました。特に印象に残ったことは農業体験です。私の自己課題は「言われたことをすぐにできるようにする」でした。サツマイモや落花生の収穫では、言われたことにすぐに取りかかることができ、普段あまりコミュニケーションをとったことがない人とも協力でき、みんなで一体となって農業に集中することができました。



2年：飛翔祭

11月、2度目の飛翔祭。――最強リレーは1人も抜くことができず、悔しい思いでいっぱいでした。ですが、みんなが涙と笑顔で迎えてくれ、1つになれた瞬間を感じる事ができました。…この2日間を終えるまでの過程は、涙も笑顔もありました。でも1つだけ分かったこ



と、それは私たちのクラスがいつも言っていた言葉でもあります。それこそが「やればできる！」。私たちのクラスは、まだ始まったばかりです。

令和3年7月、修学旅行（大町・白馬方面）。——2日間を旅行を、全員で幸せに、いっぱい笑顔で創りあげることができました。京都・奈良には行けなかったけど最高の思い出になりました。先生方や親にも感謝したいと思います。学ぶことも、今後に生かしていけることも、絆を深められたことも、たくさんの奇跡が起こったことも、まさしく「空前絶後」、最高の3学年旅行でした。

10月、最後の飛翔祭。——今回の飛翔祭は私たちにとって最後の飛翔祭でした。最後ということもあり、不安や緊張が大きく、正直、本番が来てほしくないと思うときもありました。しかし、当日のいろいろな場面で、1人1人が泣いたり笑ったりしているのを見たとき、ほっとすると同時に、達成感を強く感じ、閉祭式の頃には、「私たちは最高だ」という気持ちになっていました。クラスや学年で過ごす時間もあと少しだけど、みんなで進路実現をめざしていきたいと思います。

11月、合唱発表会。——僕は今回の音楽会が、一生の思い出になりました。クラス合唱、学年合唱のすべてが心に残りましたが、こんな時期だからこそ、体育館中に響いた全校合唱が心に残りました。クラス合唱だけでなく全校合唱にも全力で取り組む全校の皆さんがカッコ良かったです。僕たちにとって最後の音楽会は、みんなで協力して良いものをつくることができました。1・2学年の皆さんは、来年の音楽会もぜひ、心に残る音楽会にしてください。



3年：修学旅行
（大町・白馬方面）



3年：飛翔祭



3年：合唱発表会
学年合唱「決意」

◆ 3 学期終業式

【校長先生のお話】——^{ゆうしゆう}“有終の美、という言葉があります。古代中国の詩経^{しきよう}という書物にある“初め^{はじ}有らざるなし^あ 克^は終^まわり有る^{つと} 鮮^あし、に由来する言葉です。 「初めは誰もがするものだが、それを終りまで全うできる者は少ない」という意味で、だからこそ「最後まで続けることは美しい」のです。皆さんには、令和3年度の最終日となる卒業式当日、ぜひ、有終の美を飾ってほしいと思います。また、今ほど、“平和、について考え、行動しなければならぬときはありません。身のまわりのこと、社会全体のことにも関心を高めていけるきっかけにしましょう。

【生徒所感発表】1年2組 女 子

私がこの1年間で成長できたことは提出物、挨拶、時間への意識です。2年生になってがんばりたいことは発言です。この1年間で成長できたことを来年度に生かし、立派な2年生になりたいです。

【生徒所感発表】2年2組 男 子

僕が3学期に意識できたことは時間管理です。課題は学習への取り組み方です。僕たち2年生はすでに受験生になったので、空き時間も有効に使い、繰り返し学習をして、3年生のスタートに備えたいです

【生徒所感発表】3年2組 男 子

いよいよ明日は卒業式です。3年生のみんな、今までみんなのおかげで本当に楽しかったです。そして僕たち3年生がこれまで成長できたのは、保護者、先生方、後輩のおかげです。感謝してもしきれません。僕たちはそれぞれの進路先でこれからもがんばっていくので、是非応援してください。

◆ 卒業証書授与式



オンライン(在校生)

保護者の皆様、地域の皆様、1年間にわたり、信明中学校の教育活動を支えていただき、誠にありがとうございました。厳しい社会情勢が続く中、本日卒業式を迎えることができたのも、皆様によるご支援・ご協力があったことと、心より感謝申し上げます。